

防府消化器病センター

一般財団法人

11月

いてふ

ICHO-No.30 2019

Message from our Director

風疹予防と2020

病院長 三浦 修

風疹は、1970年代には日本で大流行をしていた疾患であり、WHOの発表によると現在でも世界第3位の発生数、第2位の発生率になっています。最大の脅威は、先天性風疹症候群であり、妊婦が妊娠初期に感染すると、胎児に先天性心疾患や難聴、白内障などを引き起こし、死亡率も20%以上に達します。不顕性感染でも胎児は発症すると言われています。過去の予防接種行政の中で、1962年4月から1979年4月に生まれた男性には、1度も風疹予防接種の機会がなく、この中で風疹感受性者が約20%（320万人）います。他の世代の男女は、接種回数には大きな個人差があります。

国は、風疹感染制御のために、我が国でオリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに、抗体保有率を80%に上げ、さらにその後1年半で90%まで高めようとしています。今年初めから3年間かけて、上記年代の男性に国と自治体の補助で抗体価検査を行い、抗体価の不十分な個人へのMRワクチン接種を開始しました。風疹は、発疹出現の1週間前から1週間後まで感染力があります。また、不顕性感染もあります。最も懸念されるのは、職場などで感染した風疹ウイルスを知らないうちに家庭に持ち帰り、妊娠初期の奥さんに感染させてしまうというシナリオです。先天性風疹症候群を発症させないためにも、組織の危機管理としてのMRワクチン接種が重要となってきます。

とても難しいテーマをいただきました。やはり両立は容易ではありません。それを予測して、私は消化器内科医としての知識や技術を習得することを優先し、出産を先延ばしにしてきました。結果、医師になって長女を出産するまでの18年間休むことなく研鑽を積んだことになり、臨床も学会活動もそれなりの役割を担えるようになったかもしれません。しかし、一般的には妊娠出産などのライフイベントと研修や専門医資格取得の時期は重なりやすく、両立に苦労し離職あるいは非常勤医師などの立場で就業を継続している方は多いと思います。かつて女性医師の割合は医師全体の1割に満たなかったのが、現在若い世代では3割を超え、今後はさらに増加する見込みのようです。男性の方がライフイベントに左右されず夜勤や放射線関連業務をこなせる可能性が高いことは確かですが、今後は高齢化社会となり男性も女性も介護の問題にも直面することが予想され、少数の男性医師だけで体制を維持していくのはますます難しくなってくると思われます。ブランクがあり、勤務時間に制限のある育児中の女性医師をどのように活用していくのかまだまだ課題の多いところですが、育休後の復職プログラムの取り組みなども各地で少しずつ始まっているようです。



出産した後の生活を振り返ってみました。長女を出産した時は産後3ヶ月で復帰しましたが、当時の上司に「子供が熱を出したからといって仕事を残して早退するようなことがあれば、君のことは認めない！」と釘をさされました。そこで長女を病児保育の併設された「スーパー保育園」に預けることにしました。かなり自宅からも病院からも遠いところにありましたが、病児保育も時間外保育も充実している上、子供に夕食まで食べさせてくれるという女性にとっては働きやすい環境を提供してくれる保育園でした。当時は主人と同施設で働いていたので連絡を取り合って早く終業した方が迎えに行くという生活が始まりました。まず復帰直後に経験するのが子供の発熱です。発熱があると病児保育が併設されているとはいえ、保育園から数時間おきに電話がかかってきます。予定の仕事をなんとか早く終わらせてかけつけ、夜間診療をしている小児科へ連れて行くというヒヤヒヤする日々が続きました。それが1歳半ごろになるとある時を境にピタッと熱が出なくなったのを覚えています。それ以降はバタバタながらも臨床、学会活動を継続してきました。両立のペースがつかめてきたかなと感じるようになったころ次女を妊娠しました。次女出産後は4ヶ月で復帰しましたが、次女が生まれてからの生活はそれまでの何倍も大変でした。保育園に預けている間は変わりなく仕事ができますが、帰宅後まだ甘えたいと思う二人の子供の要望に応えながら、原稿を書いたり学会準備をしたりするのは子供が寝ている時間しかないといった状況が続きました。それでも復帰直後も学会に主題演題を複数登録するなどして、周囲に苦笑されることもありながら自分なりに頑張ってきました。両親が近くにいない環境にありながら夫婦二人で互いがやりたいだけの仕事をやってこられたのは間違いなくその「スーパー保育園」のおかげなのですが、なにより大変だったのはその「スーパー」な保育料でした。二人を預けて働くより仕事をやめて家にいた方が経済的には安定すると思えるほどでしたが、サポートいただく環境面の充実というのは本当に重要だと思います。

現在は「スーパー保育園」こそありませんが、勤務時間に配慮をいただき多数のスタッフに力をお借りしてなんとか仕事を継続させていただいています。またファミリーサポートセンターの紹介でご近所の方に子供の園への送迎をお願いしたり、もちろん両親のサポートも大きな力です。院内外たくさんの方々のお力があっての毎日です。なんとか1人材として貢献していけるようつとめたいと思います。まだまだ結論の出ない問題ですが、「育児と仕事」この難しい課題になにか風穴を開けられるような仕組みが整備される日が早く来ることを望みます。

看護部より ～子育てと仕事の両立を目指した産後復帰支援～

看護部長 中村章子

当看護部では現在、全看護師の10%が産休・育休に入っており、産後復帰支援は喫緊の課題です。復職後、各人のキャリアを活かしながら子育てが支援できるような体制づくりに看護部全体で取り組んでいます。



《昨年第1子を出産後、今年7月に手術室に職場復帰した看護師の声》

職場復帰して4か月が経過しました。復帰前は仕事と育児の両立ができるのか不安もありましたが、当院は産後復帰支援が充実しており、安心して復帰することができました。

子供の体調不良で仕事を休まざるを得ないことがありますが、当院には子の看護休暇の取得ができること、また夫も休暇を取ってくれるため協力しあって育児をしています。子育てと仕事の両立には家族の理解と協力が必要であると実感しています。

仕事では、育児短時間勤務で勤務させて頂いており短い勤務時間の中で、できることは限られてきますが、先のこと考えて仕事をするよう心掛け、スキルアップのため研修への参加もできる限りしています。

育児短時間勤務であり、子供のことでお休みすることもあります。職場のスタッフの理解もあり、こうして働くことができます。昨今、看護師の離職、待機児童問題などありますが働けることに感謝し、子育てと仕事の両立を頑張っていきたいと思っています。

地域医療連携・相談室より

Renkei

当院肛門外科部長 宇都宮医師と、外来師長 岡屋看護師が「2019年度ブルーサークル山口主催糖尿病療養支援勉強会」にて以下の内容で肛門疾患に関する講演をいたします。非会員の方も参加できます。多くの方のご参加をお待ちしています。(申し込み不要)

- ・日時 : 2019年11月2日(土) 12時15分～14時15分(開場13時)
- ・場所 : 山口県セミナーパーク セミナー室1
山口市秋穂二島 1062 TEL:083-987-1410
- ・テーマ : 糖尿病療養指導士に知ってもらいたい糖尿病患者の肛門周囲疾患とケア
- ・座長 : 浅江 文枝先生(山口大学医学部附属病院 糖尿病看護認定看護師)
- ・講師 : 宇都宮 賢高先生(一般財団法人防府消化器病センター 肛門外科部長)
「肛門疾患の常識・非常識 ～糖尿病患者に起こりやすい肛門疾患」
岡屋 亮子先生(一般財団法人防府消化器病センター 外来師長)
「肛門周囲疾患患者のケアと患者教育」
- ・参加費 : ブルーサークル山口会員は無料、非会員 500円

<問い合わせ先> ブルーサークル山口事務局

糖尿病ケアサポートオフィス 中山法子 Mail: dmcare@c-able.ne.jp

FAX: 083(963)4987

外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	松岡	松岡	三浦	交代制
	2診	藤原 9:00~		竹尾	藤原 9:00~		交代制
	3診	三浦	竹尾	柿本	三浦	松岡	交代制
	5診	柿本	松岡	鴨打	竹尾		
	6診	南園	戸田 9:00~	南園	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1診	戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診
	肛門外科	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診

	診療日時	受付時間	診療時間
平日	午前	8:00~11:00	8:30~
	午後(月・水・金)	13:30~16:30	14:00~
土曜日	午前	8:00~11:00	8:30~

※ 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。
 土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
 出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
 担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33
 TEL: 0835-22-3339 (代表)
 HP: <https://www.hofu-icho.or.jp>



交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)
 または JR 防府駅より徒歩 10分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

Editorial Note

日に日に秋が深まって参ります。時に暑さを感じることもまだありますが、晴れた日の空の高さには特に秋を感じさせられます。今年では天候が乱調で自然の恐ろしさを実感することが多くありましたが、秋はその恵みを実感する時季でもあります。ひとを含めて全て二相性の中でなんとかバランスを保ちながら存在しているのだと思いますが、物事は味方によって如何様なる色にも変化します。秋の彩りも素晴らしいです。その中で事象の良いバランスを見つめて参りたいと思います。天候の変動が体調にも影響しやすい時期に入ります。皆様もご自愛くださいませ。

事務局長 栗林左知